

# 衆議院国土交通委員会ニュース

平成 29.5.9 第 193 回国会第 13 号

5 月 9 日（火）、第 13 回の委員会が開かれました。

## 1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・石井国土交通大臣、末松国土交通副大臣、根本国土交通大臣政務官、富樫総務大臣政務官及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 齋藤洋明君（自民）

- ・これまでの委員会でも J R 東日本労組において革マル派が相当程度浸透している旨の答弁があったが、現在もこの認識に変更がないか確認したい。また、日本最大の鉄道会社である J R 東日本の労組が同派の強い影響下にある現状は好ましくないと考えるが、これについて国土交通省及び警察庁の見解を伺いたい。
- ・高齢ドライバーが関与する事故が増加傾向にあることから、自動車教習所は高齢者教習に積極的に取り組もうとしているが、春季は、高校の卒業生が押し掛け、繁忙期を迎えるため対応できないのが現状だ。1980 年代から高校生の自動二輪等の運転免許取得に関して取り組まれている「三ない運動」を見直す時期に来ているのではないかな。

### 伊佐進一君（公明）

- ・トラック運転者の処遇改善のため、輸送以外の付帯業務の具体的な内容を契約書において明文化したり、適切な原価計算やそれを踏まえた荷主との価格交渉を通じた運賃設定が可能となるように「トラック運送事業者のための価格交渉ノウハウ・ハンドブック」等の内容を周知徹底することが必要ではないかな。
- ・自家用車による有償運送を行うライドシェアの解禁は問題だと考えるが、規制改革推進会議においてこれについての議論はなされていないことを改めて確認しておきたい。一方、タクシーの相乗りサービスについては、実現に向けた業界の取組を支援するべきではないかな。

### 村岡敏英君（民進）

- ・インバウンドの増加に伴い公共交通機関でのトラブル等が想定されることから、安全対策を検討する必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- ・北朝鮮によるミサイル発射事案に関し、国土交通省の危機管理体制はどのようになっているかな。

- ・奥羽新幹線・羽越新幹線の整備に関し予算を確保してから調査していくとのことであったが、どのような状況かな。

### 小宮山泰子君（民進）

- ・平成 26 年 8 月にトレーラが米油をコンテナに積載して走行中、コンテナのフレキシバッグから米油が漏洩してこれにより交通事故が発生したが、液体輸送の安全対策を検討すべきではないかな。
- ・三島川之江港が港湾運送事業法の適用対象港でないために、法的な港湾運送行為に当たらないことから労務単価が低く抑えられている。直ちに指定港とすべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・伝統的工法の振興や木材の利活用につながると期待される和の住まいの推進の取組に関する大臣の見解を伺いたい。

### 玉木雄一郎君（民進）

- ・坂出北インターチェンジのフルインター化の早期供用開始実現に向けた大臣の見解を伺いたい。
- ・森友学園への国有地売却の決裁文書において記載されている売払いに至る経緯で、国が森友学園側に「関係資料を交付した上で」とあるがこの資料及び状況説明の内容について伺いたい。
- ・当初の資料等においても廃材・ゴミ等について記載があるが、値引きの根拠となった、当初示した資料では想定しえないレベルの生活ごみ等地下埋設物の内容について伺いたい。

### 清水忠史君（共産）

- ・ギャンブル等依存症対策の強化に関する論点整理で示されたモーターボート競走場における A T M のキャッシング機能の利用状況調査を誰が行うのか、廃止についての取扱方針の決定はいつまでに行うのか伺いたい。国土交通省が指導的立場を発揮して A T M 廃止を求めていくべ

きではないか。

- ・平成 29 年度予算における地域生活支援事業の新規事業であるギャンブル等依存症問題に取り組む民間団体支援事業については、地方公共団体への周知が不十分で、支援の実績が上がらないのではないかと。

### **本 村 伸 子君（共産）**

- ・リニア中央新幹線のトンネル掘削工事が始まった長野県下伊那郡大鹿村を大臣は訪れたことがあるか。この美しい村の住民にリニア工事によって多大な迷惑をかけるという認識を大臣は持っているか。
- ・JR東海は4月7日のトンネル掘削工事開始の通知を前日夕方になって長野県や村当局、一部の住民に対して行った。これは「リニア中央新幹線の建設事業については、地元の理解と協力が不可欠である」とのこれまでの大臣答弁に反しているのではないかと。
- ・静岡県大井川の減水対策としてトンネル工事で発生する湧水を全量恒久的に大井川に戻すよう求める静岡県知事意見に対するJR東海の回答は、静岡県知事の意見にに応じている内容になっているのか。

### **椎 木 保君（維新）**

- ・物流業界全体でドライバー不足が深刻化している問題をどのように受け止めているのか。また、ドライバーの長時間労働及び低賃金という現状に対してどのような対策を考えているのか。
- ・人材の確保が今後益々厳しくなっていく中で、限られた人手を効率的に活用し、質の高い物流サービスを安定的に確保することが必要である。物流の効率化、省力化を進め、より一層物流全体の生産性の向上が求められるが今後のどのような取組を行っていくのか大臣の見解を伺いたい。
- ・自動車整備業界においても、自動車整備士を目指す若者が10年間で半分に減り、整備要員の高齢化により人手不足の状況である。必要な人材の確保に対してどのような施策を講じているのか。